

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	34	学校名	静岡県立静岡高等学校	校長名	小関 雅司
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

ア 校訓

こゝろ
印高（高きを仰ぐ）

イ 実践目標

われわれは勉強を本分とする。われわれは人に迷惑をかけない。われわれは自主的に行動する。

ウ スクール・ポリシー

(ア) グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ① 高い志をもって広く社会に貢献しようとする気概に溢れた人
- ② 幅広い教養を備えて物事を多角的総合的に判断できる人
- ③ 主体的に学び、常に自己の知的な枠組みを刷新できる人

(イ) カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ① 世界に目を向ける気構えと、周囲への感謝を忘れない謙虚さを併せ持つ人間性を育む。
- ② 知的好奇心をもって自然や社会の諸現象を理解しようとする知性を育む。
- ③ 自己の考えを発信する力と、他者の考えを尊重し調整する力を併せ持つリーダーシップを育む。

(ウ) アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- ① 好奇心が旺盛で学んだことを高いレベルで活用できる者
- ② 3年間自分自身を成長させ続ける意思がある者
- ③ 多様な価値観を認め、豊かな人間関係をつくることのできる者

(2) 目標具現化の柱

ア 基本的な生活習慣を確立し、授業・部活動・家庭学習に主体的に取り組む生徒を育成する。

イ 高い知性の涵養に資する授業づくりに取り組む。

ウ 進路意識の高揚及び高い進路目標の達成を目指し、きめ細かな進路指導を推進する。

エ 生きる力や豊かな感性を培うため、部活動・特別活動等の充実に努める。

オ 心豊かな人生の実現に資する読書環境の整備に努める。

カ 生徒の成長・発達を支える良好な教育環境の整備に努める。

キ 高い資質・能力を備えた教職員集団であるべく、常に研究・修養に努める。

ク 生徒・保護者及び県民から信頼される学校づくりに努める。

ケ 「オンリーワン・ハイスクール」事業や知的好奇心を喚起する事業を通して、主体性や探究心、グローバルな視野、リーダーシップの育成等に努める。

コ 働き方改革や新学習指導要領への対応等、今日的な教育課題に組織的に取り組む。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	毎日の学習及び生活のリズムを確立する	○初期指導（学校生活、学習習慣、スマホ利用等）の徹底 ○常日頃からの挨拶の励行	○「規則正しい生活（生活リズムを確立）している」と自己評価する生徒70%以上 ○「挨拶ができています」と自己評価する生徒80%以上	生徒課 各学年

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進し、知的好奇心や探究心を喚起する	○ICTを活用した授業実践 ○教員相互による授業参観 ○生徒による授業アンケート ○「高校生のための学びの基礎診断」測定ツール（※）の活用による的確な学力把握と指導の改善	○授業を大切にする生徒、主体的に学ぶ生徒の育成 ○「授業の内容がよくわかる」と自己評価する生徒80%以上 ○測定ツールで把握した学力に基づき授業改善に取り組む教員90%以上	教務課 研修企画課 情報処理課 各教科
ウ	低学年からの高い志の育成に努め、進路実現を図る	○進路講演会、大学訪問、「オンリーワン・ハイスクール」事業等による印高の精神の涵養 ○進路だより等を通じた情報提供と意識付け	○進路行事実施後の進路意識の向上 ○入らなければならない大学を見つけた生徒の割合80%以上	進路課 総務課
エ	学校行事や部活動に主体的に参加し活動するとともに、社会に貢献する	○学校行事や各部活動の充実 ○各部活動に合った社会貢献活動の取組	○学校行事や部活動に積極的に取り組む生徒85%以上 ○1部活1社会貢献活動100%	生徒課 各部顧問
オ	読書習慣の定着と読書量の増大、図書館利用の推進を図る	○朝の読書週間、ホームルーム読書会、図書館開放	○朝の読書週間 年2回 ○図書館開放 年300日以上	図書課
カ	生徒及び職員が心身ともに健康で過ごすことができる校内環境を整備する	○朝の健康観察 ○不安や悩みを抱える生徒の支援（スクールカウンセラーの活用） ○日常の清掃活動 ○施設設備の定期的な安全点検	○健康観察を通しての情報共有 ○校内情報交換会 学期1回以上 ○学習環境の美化に努める生徒の育成、 ○安全点検 学期1回	教育相談室 保健厚生課
キ	教職員の校内外の研修を充実させる	○「授業における効果的なICT活用」等をテーマとした研修の実施	○「スクール・ポリシー」、「育てたい資質・能力」を踏まえた授業改善に向けた研修機会の充実	研修企画課 情報処理課 全員
ク	新学習指導要領に対応した教育課程への円滑な移行及び土曜オープンスクールの充実を図る	○新学習指導要領に基づくシラバス作成（年次進行）及び学習評価のシステム構築 ○ホームページによる広報、情報発信	○「カリキュラム・マネジメント」の視点からの新カリキュラム完成 ○中学生及び保護者等の土曜オープンスクールへの参加者数のべ1000人以上	教務課 情報処理課 各教科
ケ	校内外のプログラムや外部人材の活用を通して、グローバルな視野の育成及び国際交流を推進する	○「オンリーワン・ハイスクール」事業を中心とする各種プログラムの活用及び各方面の専門人材による講演等の実施	○各種プログラム参加者の増加と意識の向上 ○参加生徒、教職員の視野の拡大	研修企画課 全員
コ	「学校における働き方改革」に組織的に取り組む	○行事の精選と各教職員の主体的な取組による業務の精選と合理化 ○職員安全衛生委員会等の活用	○行事・業務の意義や必要性を見直し、整理・精選を図る。 ○産業医への勤務状況報告と指導助言の実施 毎月	管理職 全員

※「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール：本校においては「静高模試」及び「学力テスト」